

(春の交通安全祈願祭・町民大会祝辞：R06・4・8)

改めまして、お晩でございます。

春の交通安全祈願祭、町民大会に参加をいただき大変ご苦労様です。日頃から交通安全運動の推進にご尽力を頂いておりますことにつきまして、感謝の気持ちを込めて敬意を表したいと思います。

去年の北海道の交通事故件数が多くなっており、少し心配しておりましたが、一昨日、道のホームページを見ますと、今年は減少し全国 18 位となっております。

平成 15 年から 20 年以上交通事故死ワーストワン返上を続けております。

道路網の整備、車両の改良等、安全を重視したいろいろな取組み、地道に続けてきた交通安全啓発運動の成果だと思えますが、新聞、テレビでは毎日のように、交通事故死が報道されております。飲酒、居眠り運転、暴走・危険運転によるもの、わき見運転や、ブレーキ、アクセルの踏み間違い、前進、バックの間違いなど、ちょっとした油断での事故が多く、依然として犠牲となるのは、交通弱者である子供たちや高齢者です。特に子供たちの事故は、大きな悲しみとして影響も大きく、私たち大人が守ってあげなければなりません。

運転する方が交通安全の意識をしっかり持たなければならない事は第一ですが、家庭、地域、職場等、関係機関が一丸となって本日のような運動を積み重ねていく事が、交通安全運動の推進に大切な事だと思います。ご出席の皆様には、引き続きご尽力下さいますようお願いをいたします。

ご出席の皆様のご健勝と、交通事故、事故死がおきませんよう心からご祈念いたしまして、措辞ですが挨拶といたします。本日は、大変ご苦労様でした。